

# 図書館だより

師走 12月  
令和 6年 12月 12日発行  
高志館高等学校図書室  
文責 塚原

## 12月号



今年もたくさんの方に、図書室を利用して頂き、ありがとうございました。来年も宜しくお願ひします。  
今月も皆さんの興味ある新刊がたくさん入ってきています。  
12/19にはクラス読書会もあります。好きな本を探しに来ませんか。  
**冬休み特別貸出(12/23~27、1/6、7)は通常通り10冊まで**ですが、貸出期間は**3週間**とします。

### 最新刊

雫

寺地 はるな【著】(唐津出身)



今日が、雨でよかった一時を超え、かたちを変えて巡る、“つながり”と再生の物語。

寺地はるな(「川のほとりに立つ者は」2023年本屋大賞9位受賞)の真骨頂。感動長篇の最新作。

## 来館者数クラスマッチ



7月1日から始めた「来館者数クラスマッチ」。授業以外で来館したら、シールを1枚貼ってもらいます。現在、F1(1年食品流通科)が1位! ゴールの1月10日が近づいてきました。**優勝クラスは表彰**もしますので、ぜひ図書館に来てください。

### お知らせ

- 3年生の貸出は、**1月末で終了になります。**
- 多読者表彰(年間100冊以上)**を行います。
- 冬休みは12月28日~1月5日を閉館します。
- 貸出を延長したい場合は1度返却してください。

# 新着図書案内

**気の毒ぼたらき** 宮部 みゆき【著】  
きたきた捕物帳 III



千吉親分の文庫屋が火事だ！現場に駆け付けた北一が見たものとは。謎解き×怪異×人情が味わえる人気シリーズ第三弾！

**小鳥とリムジン** 小川 糸【著】



苦しい環境にあり、人を信頼あることをあきらめ、自分の人生すらもあきらめていた主人公が、かけがえのない人たちと出逢うことで自らの心と体を取り戻していく。

リクエスト

**十津川警部捜査行 悪女** 西村 京太郎【著】



人材派遣会社社長の山際卓郎は、クラブママの結城あやから人脈と資金面の協力があり事業が成功した。だが、次第にそれを恩に着せたような傲慢なあやの言動が目立ち始め、彼女の殺人計画を練る。

**歯を磨いてもむし歯は防げない**

前田 一義【著】



なぜ、スウェーデン人は砂糖の消費量が日本人の2倍なのに、むし歯は半分なのか？80歳代になっても20本以上の歯が残っているのか？日本人の9割が知らない間違いだらけの口腔ケアとは？

**レプリカだって恋をする 4**



ハルナ ドン  
様名 井【著】

「ナオが決めて、いいんだよ。ナオとして生きていくか。それとも……私の中に戻ってくるか」  
素直に与えられた猶予は、一か月とすこし。オリジナルのために働くレプリカである私の心は、もう決まっています。

リクエスト

**ガラスの海を渡る舟** 寺地 はるな【著】



祖父の遺言をきっかけに、ともにガラス工房を引き継ぐことになった、相容れない二人の絆の行方とは。大阪・空堀商店街にあるガラス工房で兄妹が過ごした、愛おしい10年間を描く感動の物語。

リクエスト

**境界線** 中山 七里【著】



『このミステリーがすごい！』大賞のシリーズ『護られなかった者たちへ』を超える慟哭——。  
戸籍売買の闇を描く社会派ミステリー！女性の遺体が発見された。身分証から、七年前の東日本大震災で行方不明になっていた人物であることが判明した。

**適切な世界の適切ならざる私**

文月 悠光【著】



中原中也賞、丸山豊記念現代詩賞を最年少の18歳で受賞し、21世紀の現代詩をリードする文月悠光の記念碑的第一詩集が待望の文庫化！  
解説 町屋良平

**現代用語の基礎知識 2025**

ことばでとらえる 自由国民社 編集



創刊77周年

「2024年の言葉と世相を記録」する年鑑言葉を知り、考えるための現代用語。

**神様の定食屋 1・2**

ナカムラ サツキ  
中村 颯希【著】



ひよんなことから神様と出会い、未練を残した魂に体を貸すのと引き換えに、「料理の腕を磨きたい」という願いを叶えてもらっていた高坂哲史。その神様と会えなくなって、はや数ヶ月。いなくなったはずの神様に話しかけると、まさかの返事が！

**間違いだらけの「野菜」の食べ方**

林 美美【監修】



カラダに元気を取り戻す「1日350g」の新常識。私たちの健康に野菜は欠かせません。でも、実際はぜんぜん量が足りなかったり、間違った食べ方のせいで栄養が十分摂取できていなかったりして、野菜の栄養をからだに生かすことは意外に難しいのです。

**今宵も喫茶ドードーのキッチンで。**

標野 凪【著】



SNSで発信される(ていねいな暮らし)に振り回されたり、仕事をひとりで抱え込んだりして、疲れたからだを強ばった心を、店主そりりの料理が優しくほぐします。